

A . 分詞を含む慣用表現

1. Yesterday I went swimming in the pool after school.	昨日、ぼくは学校が終わってからプールに泳ぎに行った。
2. Miyazaki didn't attend the Oscar ^{*1} award ceremony because he was busy working on his next production titled "Howl's Moving Castle."	宮崎さんは次回作『ハウルの動く城』の制作に忙しかったため、アカデミー賞の授賞式を欠席しました。
3. I hope you like your name. Daddy and I spent a lot of time choosing your name.	名前、気に入ってくれるといいけど。パパとママは、あなたの名前を選ぶのにすごく時間かけたのよ。
4. We had trouble finding a parking space.	私たちは駐車する場所を見つけるのに苦労した。
5. We had a hard time finding his house.	我々は彼の家を見つけるのに苦労した。
6. There is a storm approaching.	あらしが近づいている。
7. There is very little time left.	もう時間がほとんど残されていない。

*1 Oscar はアメリカで毎年映画のアカデミー賞受賞者に与えられる金色の像のこと。転じて、このようにアカデミー賞自体を指す場合もある。

[例文 1] 「go doing (do しに行く)」の型。この go は「行く」よりも「する」という行為に力点がある。「プールに行く」は「に」という日本語につられて to the pool としないように。「プールの中で泳ぐ」のだから in the pool とする。

go bowling / camping / cycling / fishing / skating /skiing /walking など、
doing の内容は「家を出て、身体を動かす気晴らし」である場合が普通。^{*1}

[例文 2] 「be busy doing (do して忙しい、忙しく do している)」の型。^{*2}
ある事柄に没頭し、多くの注意と努力を払って何かをすることを表すときに使う表現。

[例文 3] spend は「特定の目的を持って時間やお金を使う」の意。「spend [時間・お金] doing」の型で「do して [時間・お金] を費やす、[時間・お金] を費やして do する」の意を表す。

[例文 4] 「have trouble [difficulty] doing (do するのに苦労する、なかなか do できない)」の型。^{*4}

この型を押さえておくと、The little girl had no trouble solving the problem. のように若干手を加えることで「その幼い女の子はその問題をわけなく解いた」などと簡単に表現できる。

[例文 5] have は「経験する」の意。「have a hard time doing」の型で「do するのに苦労する、なかなか do できない」の意を表す。

hard を good に変えれば、We went out and had a good time enjoying bowling and window shopping. (一緒に出掛けて、ボウリングやウィンドウショッピングをして楽しく過ごした) などと言える。

[例文 6] いわゆる there is 構文の there は「そこに」という本来の意味を失って「存在」を示すだけの軽い意味になっているが、あとに approaching など現在分詞が続くと、There is はさらに軽くなり、これに伴って a storm と approaching の関係が「名詞 + 修飾語」でなく、意味の上では主語と述語のように感じられてくる。訳にもこれを反映させて「近づいているあらし」でなく、「あらしが近づいている」(A storm is approaching.) とするのが望ましい。[例文 7] のように主語のあとに過去分詞が続くときも同様である。

[例文 7] [例文 6] の解説を参照。Very little time is left. として訳出するのが望ましい。

*1 次の ing 形は「～しながら、～して」の意。go hurrying (急いで行く) , go chasing (追いかけて行く)

*2 もとは「be busy in doing」(do する ~~in~~ という点において忙しい) と言ったが、英語の歴史の中でいつの間にか in が省略されて、こういう形になったもの。doing となっているのは in があった時代の名残。

*3 もとは「spend [時間・お金] in doing」([時間・お金] を do することの中に費やす) と言ったが、英語の歴史の中でいつの間にか in が省略されて、こういう形になったもの。doing となっているのは in があった時代の名残。

*4 もとは「have trouble [difficulty] in doing」(do する ~~in~~ という点において苦労を経験する) と言ったが、英語の歴史の中でいつの間にか in が省略されて、こういう形になったもの。doing となっているのは in があった時代の名残。

*5 もとは「have a hard time in doing」(do する ~~in~~ という点において困難な時を経験する) と言ったが、英語の歴史の中でいつの間にか in が省略されて、こういう形になったもの。doing となっているのは in があった時代の名残。

B . 分詞構文の基本的な形
C . 分詞構文の表す意味

1. My friends sang with me, shaking the tambourines. My friends sang with me. They were shaking the tambourines.	友だちはタンバリンを振って一緒に歌ってくれた。
2. Opening the locker, Yuko found a letter from Takeshi. Yuko opened the locker, and she found a letter from Takeshi.	ロッカーを開けると、優子は武からの手紙を見つけた。
3. Arriving at the airport, I found that my jet had already taken off. When I arrived at the airport, I found that my jet had already taken off.	空港に着いたとき、ジェット機はすでに離陸していることがわかりました。
4. Being in a hurry, I took a taxi to the airport. As I was in a hurry, I took a taxi to the airport.	急いでいたので、空港までタクシーに乗った。
5. Written in classical Japanese, <i>The Tale of Genji</i> is difficult for the Japanese today to read. As it is written in classical Japanese, <i>The Tale of Genji</i> is difficult for the Japanese today to read.	古文で書かれているので、『源氏物語』は現代の日本人にとって読むのが難しい。
6. Not wanting to worry you, I didn't tell you that I had been injured. As I didn't want to worry you, I didn't tell you that I had been injured.	君を不安にさせたくなかったので、けがをしていたことは言わなかったんだ。

分詞構文^{*1} とは、副詞の働きをする現在分詞（過去分詞）のことだ。ふつう後ろに語句を伴い、述語動詞（文の動詞）を修飾する。基本的な意味は「～して(いて)、～で」だ。

主に書き言葉。

例文において、で言いかえた文を見ると、接続詞が色々あることに気づく。逆に言うと、様々な接続詞で表すところを分詞構文ですませている。基本的な意味は「～して、～で」だが、どの意味をもつかは前後関係で決まってくる。読者に解釈を委ねる、こうした曖昧性が分詞構文の特徴。

例文から気づくように、分詞構文の時制はふつう主節の時制に一致する。

現在分詞を使った分詞構文

[例文 1] 「付帯状況の説明」をする場合。「shaking the tambourines」の部分が「タンバリンを振って」という意味を表し、「歌ってくれた」とつなげている。

[例文 2] 「出来事の順」で述べる場合。「opening the locker (ロッカーを開けて) → found a letter (手紙を見つけた) 」と出来事が続いている。

なお、Yuko opened the locker, finding a letter from Takeshi. と言ってもOK。

[例文 3] 「時」を表す場合。「arriving at the airport」の部分が「空港に着いて」という意味を表し、「わかりました」とつなげている。

[例文 4] 「理由」を表す場合。「being in a hurry」の部分が「急いでいて」という意味を表し、「乗った」とつなげている。

過去分詞を使った分詞構文

過去分詞を使った分詞構文は基本的に「～されて」の意味になる。過去分詞の前に being (か、または場合によっては having been) を補えるが、補わずに理解するようにしたい。

[例文 5] 「written in classical Japanese」の部分が「古文で書かれていて」という意味を表し、「読むのが難しい」とつなげている。

分詞構文の否定形：not [never] + 分詞構文

分詞構文の否定形は、分詞構文の直前に not (か、場合によっては never) を置く。

[例文 6] 「**not** wanting to worry you」の部分が「君を不安にさせたくなくて」という意味を表し、「言わなかった」とつなげている。

*1 分詞構文が文中に占める位置について、例文では、文頭、文尾にきており、その場合が多いのだが、分詞構文が文中を占める場合もある。

The moon, reflecting the light of the sun, makes its appearance in the evening sky.

この場合は意味的に主語に関する補足的情報を与える役割を果たすので非制限的用法の関係代名詞に極めて近い。よって、書きかえるときは接続詞を用いるよりも関係代名詞を用いる方が適切ということになる。

The moon, which reflects the light of the sun, makes its appearance in the evening sky.

日本語の意味を表すように、() 内に適切な語を入れなさい。

- 1 . ボブは試験勉強に忙しかった。
Bob () () () for the exam.
- 2 . 私はゴルフや釣りをして週末を過ごした。
I () my () () golf and fishing.
- 3 . 図書館前では何人かの人が待っていた。
() () some people () in front of the library.
- 4 . 祖母は新聞の小さい文字を読むのに苦労している。
My grandmother has () () the small letters of a newspaper.
- 5 . その問題を解くのに十分な時間が残されていなかった。
() () not enough time () to solve the problem.
- 6 . 大変暑かったので琵琶湖に泳ぎに出かけた。
It was hot that I () () () Lake Biwa.

日本語とほぼ同じ意味を表すように、() 内に適切な語を入れよ。

- 7 . 夜行バスは午後 11 時に新宿を出て、午前 6 時に京都に着きます。
Our night bus left Shinjuku at eleven, () at Kyoto at six in the morning.
- 8 . 空港に到着すると、その旅行者は飛行機がすでに離陸してしまったことがわかりました。
() at the airport, the tourist found that his airplane had already taken off.
- 9 . 田舎で農業をしていたので、父は毎朝早起きをしていました。
() a farmer in the country, my father got up early every morning.
- 10 . どうしたらいいかわからなかったので、携帯電話でその自動車事故のことを警察に通報した。
() () what to do, I used my cellphone to inform the police about the car accident.
- 11 . 遠くから見ると、崖の上のその家は古いお城のように見えました。
() from a distance, the house on the cliff by the sea looked like an old castle.
- 12 . やることもなく、公園でのんびり新聞を読みながらひなたぼっこをしていた。
() no work to do, I relaxed and sat in the sun, () the newspaper.
- 13 . 驚いて、母は私に尋ねました。「あなたどこ行ってたの？」
() , my mother asked me, "Where have you been?"
- 14 . 正しく使えば、照明は部屋を大きく見せることができる。
() correctly, lights can make a room look larger.
- 15 . 午後ずっと剣道の稽古をして疲れを感じ、1 時間仮眠をとった。
() tired from practicing *kendo* all afternoon, I took a nap for an hour.

Cover the answer

was busy studying

spent/weekend playing

There were/waiting

trouble [difficulty] reading

There was/left

went swimming in

arriving

Arriving

Being

Not knowing

Seen

Having/reading

Surprised

Used

Feeling

下線部に注意して和訳しなさい。

- 1 . Standing at the west window, you can see a lake.

- 2 . Seen from the roof of the department store, the cars on the street looked like toys.

- 3 . Written in a hurry, the memo was very hard for me to read.

- 4 . Not wanting to be alone on Christmas night, Kate went to Linda's house.

- 5 . Being in a hurry, Bob left the door open.

- 6 . Born and brought up in Okinawa, my niece has never skied.

- 7 . Looking at the roof of the house, I noticed that the color had changed again.

- 8 . Looked at from this angle, the figure in this painting looks like an old woman's face.

- 9 . I fell, striking my head against the door.

- 10 . I was napping, waiting for my turn to come.

上の和訳を見て英語に戻せるように練習しなさい。

Cover the answer

西側の窓辺に立てば（立つと）、湖が見えますよ。

デパートの屋上から見ると、通りの車はおもちゃのように見えた。

急いで書かれたために、そのメモは私には大変読みにくかった。

クリスマスの晩にひとりでいたくなかったので、ケイトはリンダの家に行った。

急いでいたので、ボブはドアを開けたままにしていた。

沖縄で生まれ育ったので、姪はスキーをしたことがない。

その家の屋根を見たとき、また色が変わっていたのに気がついた。

この角度から見ると、その絵の図柄はある老婦人の顔に見えるんだよ。

ドアに頭を強く打って、私は倒れた。

順番がくるのを待つあいだ（待ちながら）、私はうとうとしていた。

下線部に分詞構文を使い、次の日本語を英訳しなさい。^{*1}

- 1 . 音楽を聴きながら、姉は台所で料理をしていた。

- 2 . 鞆から鍵を取り出して、ルーシーはドアを開けた。

- 3 . 見上げると、空にたくさんの星が見えた。

- 4 . 寒く感じて、メアリーはコートを着た。

- 5 . 具合が悪く、ぼくは一日中家にいた。

- 6 . 電話番号を知らず、ボブは彼女と連絡がとれなかった。

- 7 . 簡単な英語で書かれていて、その本は読みやすい。

Cover the answer

Tom was cooking
in the kitchen,
listening to music.

Taking a key out of
her bag, Lucy
opened the door.

Looking up, I saw
a lot of stars in the
sky.

Feeling cold, Mary
put on her coat.

Being sick, I
stayed at home all
day.

Not knowing her
telephone number,
Bob wasn't able to
contact her.

Written in simple
English, the book
is easy to read.

^{*1} 分詞構文は自分で書くための文法というより文章理解のためのものですが、分詞構文の仕組みを定着させる
目的で練習しましょう。